

砥部町タウンミーティング(座談会型)議事録

砥部町長と幸田区の皆様で、今後のまちづくりについて直接意見を交わす「座談会」を開催しました。

開催日時	令和 8 年 6 月 26 日(金) 19:00~19:55
開催場所	幸田区集会所
参加者	町側:町長、総務課長、危機管理室長、地域振興課長、地域振興課職員 区側:区役員等 22 名
主なテーマ	区内安否確認訓練に対する町の支援や計画内容への意見交換

■ 主なご意見と回答

【防災・安心安全に関するご意見】

Q.	災害時の安否確認において、自治会未加入の単身高齢者も対象として訪問すべきと考えますが、いかがでしょうか。
A.	行政の限られた職員数では全地域をカバーできないため、民生委員や地域皆様の力が不可欠です。併せて、町でも単身高齢者向け緊急通報システムを、今年から来年にかけて順次自動通報するセンサー式へ切り替える予定です。
Q.	災害時に向けた独居世帯の把握のため、一つの案として区のマップを色分けすることなども考えられますが、個人情報の壁があり対応が非常に難しいと感じています。区としても旗の表記やバーコード化など情報の扱い方を試案しているところですが、町としてはどのようにお考えでしょうか。
A.	避難行動要支援者名簿のうち、町への情報共有に同意いただいた方の情報については区長にお渡ししています。災害が起きて命の危険が及ぶ可能性がある場合であれば地域の皆様に情報を開示できるのですが、有事の前の段階において、誰にどこまで情報を共有してよいかという制度が整っていないのが現状の課題です。
Q.	自治会レベルでの備蓄品が全くありません。今後の備蓄の考え方について教えてください。
A.	新設した「届出避難所制度」を活用し、地区での避難所運営計画を提出していただければ、集会場などに対して町から一定の備蓄品をお渡ししてサポートします。
Q.	今後の防災訓練で、要支援者を 2 名体制で訪問し、言葉を交わしたり、外から手を振って安否確認する実践的な手法を試したいです。
A.	実践的な訓練は珍しいため、ぜひ実施していただき見つかった課題をご共有ください。他地区の自主防災組織を活発化させるためのモデルケースにしたいと考えています。
Q.	自主防災組織はあっても、住民は誰がトップでやっているのか分かっていないと思います。消防団員も少なく、災害時に末端まで情報が届きません。だからこそ、今回のように町と区が連携する座談会を他の区でもやって制度などを拡散していくことが

	大事ですし、今動いている幸田区の取り組みが、他区が動くための一つのモデルになればと思っています。
A.	おっしゃる通りです。区によって防災活動の状況に差がありますが、現在自治会への加入者が減少し、有事の際に近隣の顔を知らない状況が生まれつつあることは命に関わる大きな問題です。地域の横の繋がりや自治会活動をどう守っていくかが、今後の防災における重要な鍵であると認識しています。
Q.	過去には防災士の資格を取った者同士が集まる機会があり、顔を合わせることができて良かったです。平時は活動の場がないため、スキルアップのためにも防災士の皆が集まりやすい仕組みや研修会はできませんか。
A.	災害時に防災士と一緒にあって対策することができてこそ意味があると考えており、横のつながりをしっかり構築することは大変重要です。研修の参加者が楽しくなる仕掛けづくりも大切ですので、砥部町としてどのような支援ができるか検討してまいります。

【生活環境・公園に関するご意見】

Q.	陶街道ゆとり公園の外周を散歩コースにしている高齢者から、国旗掲揚台側に休む場所(ベンチ等)が少ないという声を聞きます。対応できませんか。
A.	貴重なご意見ありがとうございます。高齢者の方々が安心して公園を利用できるよう、担当である社会教育課にも申し伝え、ベンチ等休む場所の不足状況について確認させていただきます。 【後日追記:社会教育課】皆様が安心して公園を利用できるよう、公園内にあるベンチを配置転換して、国旗掲揚台側の遊歩道にベンチを設置しました。
Q.	陶街道ゆとり公園に以前あった運動器具が撤去され、ただ歩くだけになっています。健康維持のため再設置してほしいです。
A.	以前の器具は老朽化等により撤去されたものと思われます。他市町の運動公園の事例なども参考にし、どのような設備が設置可能か是非勉強・検討させていただきます。
Q.	陶街道ゆとり公園で開催されているジュニア駅伝がなくなると聞いたのですが、本当ですか。
A.	現時点でなくなるという話は聞いておりませんが、念のため担当課に確認させていただきます。 【後日追記:社会教育課】砥部町教育委員会主催のジュニア駅伝は、砥部アスリートクラブとライオンズクラブにご協力いただき実施しています。今後におきましても廃止することなく同様に実施したいと考えています。
Q.	役場前の国道交差点(ヤクルト前)からドラッグストアコスモスへ入る町道の拡張工事の話はどうなっていますか。
A.	道路は広がる予定ですが、一部土地の所有関係で交渉が続いています。順調にいけば、来年か再来年には工事に着手できる見込みです。

■ 今後の対応・検討事項

- 「届出避難所制度」に基づく地区の避難所運営計画策定のサポート、および備蓄品の提供対応
- 実践的な防災訓練(要支援者への 2 名体制での訪問・安否確認など)の実施結果を踏まえた、他地区への波及モデル化の検討
- 防災士が継続して参加しやすくなる仕掛けづくり(集まる機会の創出など)の検討
- ヤクルト前(コスモスから国道に入る道)の道路拡張工事に関する手続きおよび交渉の継続(来年～再来年の着工を目指した対応)